

1. 調査報告概要表

グループホーム名: グループホーム プリマホーム

評価調査員氏名: 近藤順子 / 小村 美鈴

講評
全体を通して（特によいと思われる点など） （記述） ○ 職員と入所者が一つになっている姿は非常に心地よいものでした。リビングに差し込む柔らかな光・空気の流れが穏やかで、肩のこらないひと時を過ごさせていただきました。施設長が地域にもなにかお役に立ちたいとの熱い思いをこめて建てたグループホームの建物、ひろい園庭、庭に井戸がありました。しかしその設備に負けずとも劣らない職員のチームワークのよさには目を見張るものがありました。 ○ 笑顔と自然な触れ合いの中にパーソンセンタードケアを心がけた支援への取り組みが見られました。 ○ パーソンフッドを大切にされたケアが行われており、職員・家族・医師・薬剤師が一つのチームとなり、入所者を中心にしたケアが図られていました。現状に満足することなく、施設長・管理者・職員・介護支援専門員が一つになり研修に参加し、ケアについての話し合いに努力を惜しまず、ケアの質向上に一丸となり努力する姿が見られました。 ○ 共同生活を営む認知症要介護高齢者に対して、家庭的な環境の中で職員による生活指導及び援助を行うという目的が果たされているように感じられました。
特に改善の余地があると思われる点 （記述）特に改善というわけではありませんが、これからも常に向上心に沿った改善を心がけ、豊かな技術と知識でよりよい共生への取り組みを継続される事を期待しております。

2. 調 査 報 告 書（評価項目）

グループホーム名： グループホーム プリマホーム

評価調査員氏名： 近藤順子 / 小村 美鈴

項目番号		項 目	できている	要改善	判断した理由や根拠、特記事項、改善すべき点等
外部	自主				
I 運営理念 1 運営理念の明確化					
1	1	○ 理念の具体化、実現及び共有 事業主と全ての職員は、グループホームの理念・意義と役割を理解している。	○		入職時に代表・管理者が思いや理念の説明をしている。 会議等でその都度確認、強制することなく楽しく自然な形で理解できるように職員も含め努力がなされています。
記述 I		グループホームとしてめざしているものは何か。			
		（記述） ご縁をいただいた入居者一人ひとりが「生きる喜び」や「生きる意欲」を肌で感じていただけるよう生き生きとした生活を大事に考え、家庭的な雰囲気の中で穏やかに笑顔のある自分らしい生活が出来るホームを目指しています。			

項目番号		項 目	できている	要改善	判断した理由や根拠、特記事項、改善すべき点等
外部	自主				
Ⅱ 生活空間づくり					
1 家庭的な生活空間づくり					
2	4	○ 家庭的な共用空間づくり 共用の生活空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）がいずれも家庭的な雰囲気有しており、調度や設備、物品や装飾も家庭的である。	○		職員手作りの作品や、利用者との共同作品など こころ温まる作品にほっとした気持ちが漂う空間作りがなされていました。
3	6	○ 入居者一人ひとりにあわせた居室の環境づくり 居室には、使い慣れた家具や生活用品、装飾品等が持ち込まれ、安心して過ごせる場所となっている。	○		入所者の方が安心して過ごせるようにと、家具類など家庭で使っていたものが持ち込まれていました。中に食器などもお好みのものを使用している方もいました。
4	7	○ 建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを、入居者が楽しんだり、活動できるように活かしている。（物干し場、園芸、水まき、草取り等）	○		リビングの窓からはウッドデッキを通して広い庭が広がり、入所者と一緒に作った菜園・花壇がありました。入所者自身が育てた花・野菜に自分の名札をつけることで自分自身が育てているという自覚が出てきたとの報告がありました。
2 心身の状態にあわせた生活空間づくり					
5	10	○ 場所間違い等の防止策 職員は、入居者一人ひとりがホーム内の場所が分かるかを把握していて、家庭的な雰囲気をこわさずに、場所の間違いや分からないことでの混乱を防ぐための工夫がある。（トイレや部屋の目印等）	○		各自工夫されたネームプレートが掛けられ部屋の目印となっていました。 ここでも、職員の手作り作品が活かされ 居場所の混乱防止の工夫が出来ています。

項目番号		項 目	できている	要改善	判断した理由や根拠、特記事項、改善すべき点等
外部	自主				
記述Ⅱ		入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か。 （記述） 入所者の生活リズムを尊重し一人ひとり出来ることをしてもらい、職員は明るく笑顔で接することを心がけています。四季を肌で感じてもらえるように入居者、家族の方々と一緒に季節の野菜や花々、庭木など育て心身機能の維持や安定に努めています。			

Ⅲ ケアサービス					
1 ケアマネジメント					
6	18	○介護計画への入居者・家族の意見の反映 介護計画を、入居者や家族とも相談しながら作成している。	○		家族の面会時、カンファレンス等を利用して意見、希望を聴取し、それを踏まえスタッフ間で相談、検討がされている。出来るだけ家族もケアに参加していただく努力が見られました。
7	20	○個別の記録 日々の介護や介護計画に反映させるため、入居者一人ひとりの特徴や変化を具体的に記録している。	○		毎日の経過を記述する介護記録と入居者一人ひとりの写真付の生活状態表もあり日々の変化や行動が把握できるものでした。
8	21	○確実な申し送り・情報伝達 職員の申し送りや情報伝達を確実に言い、重要な点はすべての職員に伝わる仕組みを作っている。	○		日々の生活の言動・体調・行動の変化が細かく記載された個人記録・申し送りノートと口頭による情報の伝達で確実な申し送りが行われていました。

項目番号		項 目	できている	要改善	判断した理由や根拠、特記事項、改善すべき点等
外部	自主				
9	22	○チームケアのための会議 チームとしてケアを行う上での課題を解決するため、すべての職員で、定期的に（緊急案件がある場合にはその都度）会議を開催し、活発に意見交換を行って合意を図っている。	○		2週間1回、会議等は定期的に行われている。意見交換や合意が行われており、全職員が会議録で確認しています。職員からの問題呈示などがあった時には随時対応されていました。
2 ホーム内でのくらしの支援 (1) 介護の基本の実行					
10	23	○入居者一人ひとりの尊重 職員は、常に入居者一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応を行っていない。（入居者一人ひとりの違いの尊重、さりげない介助、プライベートな場所での礼儀、本人の返答能力に応じた質問方法、本人が思っている「現実」を否定しない等）	○		スタッフの入居者の方への接し方、表情、また、入居者の方の表情、態度からも人格を尊重したケアが実施できている事が見て取れました。その人そのひとに合わせた声かけや、細やかな心使いが見られました。
11	24	○職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ 入居者のペースに合わせて職員の言葉かけや動きがゆったりしていて、喜びを引き出す言葉かけや雰囲気づくりをしている。	○		職員の表情、態度、場の雰囲気に対人援助の基本がしっかりとなされていました。入居者と職員が穏やかな会話を交わし、さりげなく声をかけ、負担のないように一緒に行動している信頼関係の姿は和やかで笑顔が満ちあふれていました。
12	27	○入居者のペースの尊重 職員は、職員側の決まりや都合で業務を進めていく態度ではなく、入居者が自由に自分のペースを保ちながら暮らせるように支えている。	○		入居者の方を見ると、自由で自然な生活を送っているのが見て取れました。自己決定を尊重し、すべての事に本人の意志を優先したケアが行われていました。

項目番号		項目	できている	要改善	判断した理由や根拠、特記事項、改善すべき点等
外部	自主				
13	28	○入居者の自己決定や希望の表出への支援 職員は、入居者一人ひとりが自分で決めたり希望を表したりすることを大切に、それらを促す取組を日常的に行っている。（選んでもらう場面を作る、選ぶのを待つ等）	○		利用者の能力に合わせた仕事・役割りあり、嬉々とした利用者の姿が見られました。入居者の方の表情からも自己決定、意思表示の支援が窺えました。
14	29	○一人でできることへの配慮 入居者一人ひとりのいいところ、できているところ、その人らしさ等を見つけ、今ある力を維持し、楽しく安心して自分のできることをしたくなるように、見守ったり、力づけるようなコミュニケーションや働きかけを行ったり、一緒にやったりするように日常のなかで心がけている。	○		日常生活における食事作り、片付け、掃除等レク活動における畑仕事、裁縫等の活動を通してその人らしさ、今ある力を維持できるように見守り、働きかけができていました。
(2) 日常生活行為の支援 1) 食事					
15	39	○入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫 入居者一人ひとりの咀嚼・嚥下等の身体機能や便秘・下痢等の健康状態にあわせた調理方法としつつ、おいしそうな盛り付けの工夫をしている。	○		入居者一人一人の咀嚼、嚥下能力、体調に合わせた工夫が行われており、入居者の方が楽しく参加して食事づくりが行なわれていました。健康状態にあわせた調理に心がけ、又、季節に応じた食材も提供できていました。
16	42	○食事を楽しむことのできる支援 職員も入居者と同じ食事を一緒に楽しんで食べながら、食べ方の混乱や食べこぼし等に対するサポートをさりげなく行っている。	○		実際に職員も一緒に楽しんで食事をしている。会話を楽しみながらさりげない食事介助がなされていました。 ご自分で出来ることは出来るだけしていただけるような工夫がみられました。

項目番号		項 目	できている	要改善	判断した理由や根拠、特記事項、改善すべき点等
外部	自主				
2) 排泄					
17	43	○排泄パターンに応じた個別の排泄支援 おむつをできる限りしないで済むように、入居者一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	○		トイレ誘導や声かけなどまめに行い、その人に合わせた対応が来ていました。
18	45	○排泄時の不安や羞恥心等への配慮 排泄の誘導・介助や確認、失禁の対応は、不安や羞恥心、プライバシーに配慮して行っている。	○		失禁のある方には他の入居者に悟られないように、又、時間をズラす等適切な配慮がされてきました。プライバシーを大切にし、さりげない誘導が行なわれていました。
3) 入浴					
19	47	○入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援 入浴前に健康状態の確認ができており、入居者の希望に合わせ、くつろいだ入浴ができるように支援をしている。	○		入浴は一日置きに支援しているが、その都度声かけをしている。入浴拒否がある方に対しては、言葉かけ、対応の工夫により入居者の希望に合わせた支援をしている。ご家族にも協力をしていただいたりして、みんなでケアが来ていました。
4) 整容					
20	51	○プライドを大切にした整容の支援 整容の乱れ、汚れ等に対し、プライドを大切にしてさりげなくカバーしている。（髪、着衣、履き物、食べこぼし、口の周囲等）	○		嫌がっている時は無理強いせず、その時々に合わせて対応、さりげない言葉がけがなされてきました。その場その場にあったスタッフの穏やかな優しい声かけはすばらしい支援でした。

項目番号		項 目	できている	要改善	判断した理由や根拠、特記事項、改善すべき点等
外部	自主				
5) 睡眠・休息					
21	53	○安眠の支援 入居者一人ひとりの睡眠のパターンを把握し、夜に眠れない入居者には、1日の生活リズムづくりを通した安眠策を採っている。	○		個々の記録で睡眠状態の把握をしている。眠剤使用している方もいますが、医師・家族の了解のもと使用していますとのご説明でした。
(3) 生活支援					
22	56	○金銭管理と買い物の支援 日常の小遣い程度の金銭管理を本人が行えることを尊重し、個々の力量に応じて必要物品や好みの買い物をする機会を日常的に作っている。	○		持っていないと落ち着かない方には、心身の安定を図るためにも、できるだけ持って頂いている。基本は職員が管理をしており買い物時、個々の力量や状況に応じた支援を行っています。
(4) ホーム内生活拡充支援					
(5) 医療機関の受診等の支援					
23	63	○認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保 直ぐに診てもらえたり、往診してくれたり、入院を受けてもらえる医療機関が確保できている。	○		週2回、往診をしていただいている担当の先生との連携が非常によく信頼関係も十分出来ているようでした。
(6) 心身の機能回復に向けた支援					
24	67	○身体機能の維持 認知症の人の身体面の機能低下の特徴（筋力低下、平衡感覚の悪化、嚥下機能の低下等）を理解し、買い物や散歩、調理、楽しみごと等の日常生活の中で自然に維持・向上するように取り組んでいる。	○		日常生活の中でレクリエーション・買い物・散歩・食事準備・調理など、スタッフと一緒に楽しみながら機能維持向上に取り組んでいます。 個々の楽しみ事を行うことで自然に維持、向上が期待できます。

項目番号		項 目	できている	要改善	判断した理由や根拠、特記事項、改善すべき点等
外部	自主				
(7) 入居者同士の交流支援					
25	68	○トラブルへの対応 職員は、入居者同士のけんかやトラブルの原因を把握し、必要な場合にはその解消に努め、当事者や他の入居者に不安や支障を生じさせないようにしている。	○		トラブルが生じた時は、職員が間に入って気分転換を図るようにしている。利用者ともまめに会話することにより、トラブル回避に努力されています。
(8) 健康管理					
26	71	○口腔内の清潔保持 入居者の力を引き出しながら、口の中の汚れや臭いが生じないように、口腔の清潔を日常的に支援している。(歯磨き・入れ歯の手入れ・うがい等の支援、出血や炎症のチェック等)	○		毎食後の口腔ケアを中心に口腔内の清潔保持に努め、必要に応じた個別介助がなされています。
27	72	○身体状態の変化や異常の早期発見・対応 入居者一人ひとりの身体状態の変化や異常のサインを早期に発見できるように、すべての職員が注意しており、重度化や入院を防ぐ努力をしている。また、その変化やサインを記録に残している。	○		入居者の普段の様子を見ていく中で変化、サインを記録に残し、伝達、共有する事で異常の早期発見をして、身体機能低下の防止に努めています。
28	74	○服薬の支援 職員は、入居者が使用する薬の目的と副作用、用法や用量を知っており、入居者一人ひとりが医師の指示どおりに服薬できるよう支援し、症状の変化を確認している。	○		誤薬を防ぐ工夫として個別に氏名、日付を入れる等分かりやすく工夫されていました。 薬もばらばらに保存するのではなく一包化して誤飲がないように工夫されていました。

項目番号		項 目	できている	要改善	判断した理由や根拠、特記事項、改善すべき点等
外部	自主				
3 入居者の地域での生活の支援					
29	80	○ホームに閉じこもらない生活の支援 入居者が、ホームの中だけで過ごさずに、積極的に近所に出かけて楽しめるような雰囲気を作っている。（買い物、散歩、近隣訪問、集会参加等）	○		地区の西小学校の音楽会に教頭先生と連携をとり毎年参加させていただいているようです。利用者も非常に楽しみにされていました。散歩を楽しみにされている方もおられました。
4 入居者と家族との交流支援					
30	84	○家族の訪問支援 家族が気軽に訪問でき、訪問時は居心地よく過ごせるような雰囲気を作っている。（来やすい雰囲気、歓迎、関係再構築の支援、湯茶の自由利用、居室への宿泊のしやすさ等）	○		家族が希望すれば宿泊可能とのこと。 また、家族の方の意見からも、家族の連携も図れ気軽に訪問できる雰囲気作りがなされている。毎日来られる方もいらっしゃるようです。
記述Ⅲ		一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシーの保護のため取り組んでいるものは何か。			
		（記述） 入居者一人ひとりのライフスタイル・家庭環境・個性や長年に亘る経歴や趣味などを聞き自発的に出来るよう支援しています。 日々共同生活を送る中でプライバシーの保護に務め、個々を大切にした支援に取り組んでいます。			

項目番号		項 目	できている	要改善	判断した理由や根拠、特記事項、改善すべき点等
外部	自主				
IV 運営体制					
1 事業の統合性					
31	86	○責任者の協働と職員の意見の反映 法人代表者及び管理者は、ケアサービスの質の向上に熱意を持ち、それぞれの権限や責任をふまえて共に取り組んでおり、介護従事者の採用、運営方法、入居者の入退居の判断等について、職員の意見を聴いている。	○		全体会議、ユニット内ミーティング、委員会、内部・外部研修を通して情報の共有を行い、意見の統一を図れるよう話す機会も多く取られており前向きな姿勢が見受けられました。 年間計画を立て外部講師を招いて研修会も開催し、職員のレベルアップに努力されています。
2 職員の確保・育成					
3 入居時及び退居時の対応方針					
4 衛生・安全管理					
32	100	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	○		消化訓練は年2回実施し安全管理にも努めています。又、地震、水害等の災害対策にも前向きに取り組んでいます。
6 相談・苦情への対応					
7 ホームと家族との交流					
33	106	○ 家族の意見や要望を引き出す働きかけ 家族が、気がかりなことや、意見、希望を職員に気軽に伝えたり相談したりできるように、面会時の声かけ、定期的連絡等を積極的に行っている。	○		家族への連絡をこまめにとり、意見や要望を引き出し、連携を大切に交流が図られています。
34	107	○家族への日常の様子に関する情報提供 家族に、入居者の暮らしぶりや日常の様子を定期的、具体的に伝えている。（「たより」の発行や行事ビデオの上映、写真の送付等）	○		施設内で発行している「プリマ新聞」で、入居者の様子を家族へ毎月送付している。又、利用者の様子だけでなく、介護に関する指導・アドバイスのなどもこまめに掲載し、家族との関係作りに努力されています。

項目番号		項目	できている	要改善	判断した理由や根拠、特記事項、改善すべき点等
外部	自主				
8 ホームと地域との交流					
35	110	○運営推進会議を活かした取組 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	○		運営推進会議も年6回程実施しているが、これからも積極的に取り組む姿勢が窺えました。
36	114	○地域との連携と交流促進 地域の一員として町内の活動に参加し、地域の人達が遊びに来るような働きかけをしている。	○		地域の方とも良好な関係を築けており、施設主催の行事にも地域の方も参加されている事を聞き、地域交流も図れていると思います。
37	117	○ホーム機能の地域への還元 ホームの機能を入居者のケアに配慮しながら地域に開放している。(認知症の理解や関わり方についての相談対応・教室開催、家族・ボランティア等の見学・研修の受入れ等)	○		地域の方々の参加によるバーベキュー大会をしたり、秋祭りのみこしのルートに入れてもらいトイレを活用してもらったりして、グループホームの成果を知ってもらう取り組みに努めています。
記述Ⅳ		サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。 (記述) 日々の気付きや情報を職員間で共有し、日頃から問題点などをよく話し合いヒヤリハットの防止に努めています。家族会を通じて職員、家族とのコミュニケーションを深め、ホームとご家族の連携で入居者の個性を大切にされたケアを心がけ、日々質の向上に努めています。			